

分科会活動報告

2021年度環境アレルギー分科会活動報告

平 久美子¹⁾ 山 野 裕 美²⁾ 野 崎 淳 夫³⁾ 吉 野 博⁴⁾

1) 東京女子医科大学附属足立医療センター麻酔科 2) 東京環境アレルギー研究所
3) 東北文化学園大学工学部 4) 東北大学名誉教授

FY2021 Annual Activity Report from Environmental Allergies Subcommittee

Kumiko Taira¹⁾ Hiromi Yamano²⁾ Atsuo Nozaki³⁾ Hiroshi Yoshino⁴⁾

1) Department of Anesthesiology, Adachi Medical Center, Tokyo Women's Medical University
2) Institute of Tokyo Environmental Allergy
3) Department of Architectural Environment, Tohoku Bunka Gakuen University
4) Professor Emeritus, Tohoku University

1. 概要

2021年4月から2022年3月までに、当分科会の会合は計7回開催された。昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため、対面形式を避け東京工業大学の鍵教授の手配によるZOOMを用いたWEB形式で行った。毎回、分科会会員による各専門分野の情報提供と活発な質疑応答がなされ、その都度論文形式の抄録を作成した。発足以来蓄積したこれらの抄録を、2021年11月、分科会活動報告書「環境アレルギー問題の現状と課題」として学会誌「臨床環境医学」のホームページ上に公開した。その後、一般への情報提供を目指して議論を重ね、日本における環境アレルギー対策について基礎知識を得たい人たちのための教科書が必要とされているとの結論に達し、出版に向けて企画書を作成し、学会理事長に提出した。このほかウェブ開催された第29回日本臨床環境医学会学術集会において、国立成育医療センターの松本健治先生に「アレルギー疾患とマ

イクロバイオーム」について特別講演をいただき、環境アレルギーに関する多岐にわたる貴重な情報をご教示いただいた。

2. 分科会メンバー（*2021年度入会）

医学分野：谷口正実（湘南鎌倉総合病院臨床研究センター）、渡井健太郎（国立病院機構相模原病院臨床研究センター呼吸器アレルギー科）、角田和彦（かくたこども&アレルギークリニック）、阪口雅弘（東京環境アレルギー研究所）、白井秀治（環境アレルギー info and care 株式会社）、高岡正敏（(株)ペスト マネジメント ラボ）、東賢一（近畿大学）、高野裕久（京都大学）、釣木澤尚実・押方智也子（平塚市民病院アレルギー内科）、高鳥浩介（NPOカビ相談センター）、平久美子（東京女子医科大学附属足立医療センター麻酔科、代表）

物理・化学分野：関根嘉香（東海大学）、高橋久美子・成田泰章（暮らしの科学研究所）、篠原直

秀 (産業技術総合研究所)

建築分野: 吉野博 (東北大学)、池田耕一 (日本大学)、野崎淳夫 (東北文化学園大学大学院、副代表)、一條祐介・二科妃里 (東北文化学園大学大学院)、鍵直樹 (東京工業大学)、柳宇 (工学院大学)、長谷川兼一 (秋田県立大学)、三田村輝章 (前橋工科大学)、金勲 (国立保健医療科学院)、林基哉 (北海道大学)、山野裕美 (東京環境アレルギー研究所、幹事)

3. 2021年度の研究テーマと検討内容

前年に引き続き、環境アレルゲンと環境アレルギーの増悪因子について情報収集と検討を行った。各内容と講師名 (敬称略) は以下の通り。

2021.4.6. アレルギー・アトピー性皮膚炎と有害化学物質 (角田和彦); 住宅における健康に関する QOL アンケート調査 (阪口雅弘)

2021.5.28. ペットアレルギーについて (阪口雅弘)

2021.7.9. 居住環境中のダニアレルゲン (池田耕一); ダニアレルゲンの対策について (白井秀治); 寝具のアレルゲン対策 (角田和彦)

2021.9.3. 花粉アレルゲン対策について (白井秀治); 室内環境研究者のためのアレルギー疾患 (平久美子)

2021.11.5. 環境アレルギー分科会活動報告書を活用した出版計画について (平久美子)

2021.1.14. 出版計画執筆要項について (吉野

博); アレルギー疾患と室内環境 (平久美子)

2021.2.25. 原稿内容の紹介: 化学物質 (関根嘉香); ダニの形態と分類 (高岡正敏); カビの特徴と種類 (高鳥浩介); 温湿度制御 (ダンプネス) 結露防止 (長谷川兼一); アレルギー対策を施した住まいの例 (三田村輝章)

4. 出版企画

分科会活動報告書「環境アレルギー問題の現状と課題」でまとめられた知見をもとに、公衆衛生や建築関係の学生および実務者向けに、室内環境アレルギーの概念と各アレルゲンの特徴と対策が簡潔に記載された本格的な教科書 (仮題: Q&A でわかる 脱アレルギー疾患) の出版を企画した。編集の目標は、日本の気候風土に根ざしたアレルギー対策のエビデンスを示すこと、東日本大震災に関連して生じた住宅の問題をとりあげること、医学領域と生物学領域、建築室内環境領域の研究者が、各専門知識の相互理解のため平易でわかりやすい表現を心がけることである。出版のための枠組みとして、建築および室内環境関連の専門書の出版に実績がある会社が、上記の企画について当分科会に執筆依頼し出版する。原稿のとりまとめは当分科会で行い、原稿料は各執筆者に本1冊、監修は吉野博と平久美子を予定し、著作権は学会に所属する予定である。主な目次と執筆者は下記の通り。

	目次	執筆者 (順不同)
1	アレルギー疾患と室内環境	谷口正実、渡井健太郎、角田和彦、東賢一、関根嘉香、金勲、平久美子、
2	室内環境アレルゲン	柳宇、高鳥浩介、高岡正敏、東賢一、阪口雅弘、白井秀治、鈴木澤尚実、山野裕美、篠原直秀、角田和彦
3	対策技術の現在と未来	池田耕一、野崎淳夫他、高岡正敏、鍵直樹、林基哉、三田村輝章、長谷川兼一、山野裕美、吉野博